2022年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート調査実施状況

1. 2022年度回答者内訳

	M 1			M 2			全 体		
研究科	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	18	12	67%	24	7	29%	42	19	45%
地域産業研究科	5	2	40%	8	1	13%	13	3	23%
法学研究科	6	0	0%	6	0	0%	12	0	0%
合　　計	29	14	48%	38	8	21%	67	22	33%

※学生数は、2023年3月1日付学生数による。

2. アンケート実施期間

2023年1月4日～3月3日

3. アンケート告知方法

(1)沖国大ポータル内のGmail「2022年度 大学院教育研究の向上に関するアンケートについて 」にて通知

4. アンケート回収方法

(1)Webアンケート(Googleフォーム)での回答(22件)

(参考)過去3年間(2019～2021年度) 回答者内訳

【2021年度回答者内訳】

	M 1			M 2			全 体		
研究科	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	19	7	37%	18	7	39%	37	14	38%
地域産業研究科	6	4	67%	6	2	33%	12	6	50%
法学研究科	5	0	0%	5	2	40%	10	2	20%
合　　計	30	11	37%	29	11	38%	59	22	37%

【2020年度回答者内訳】

	M 1			M 2			全 体		
研究科	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	13	9	69%	19	5	26%	32	14	44%
地域産業研究科	3	2	67%	12	5	42%	15	7	47%
法学研究科	4	2	50%	7	0	0%	11	2	18%
合　　計	20	13	65%	38	10	26%	58	23	40%

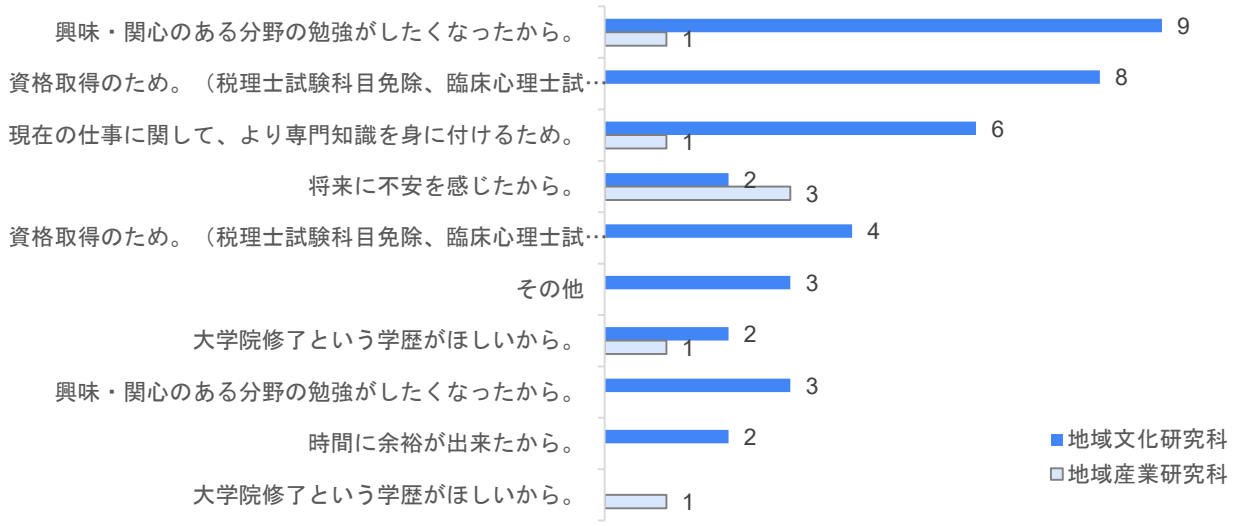
【2019年度回答者内訳】

	M 1			M 2			全 体		
研究科	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	15	10	67%	13	9	69%	28	19	68%
地域産業研究科	6	4	67%	9	2	22%	15	6	40%
法学研究科	5	1	20%	8	1	13%	13	2	15%
合　　計	26	15	58%	30	12	40%	56	27	48%

「2022年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果

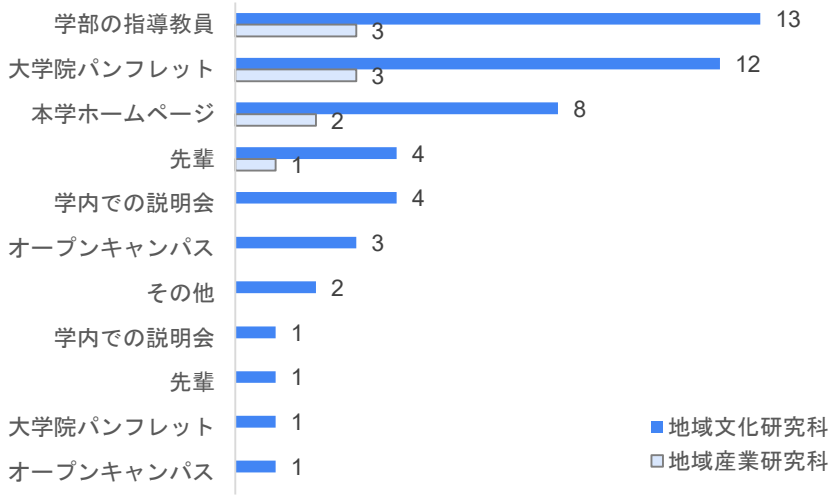
2.進学理由（複数回答可）

単位：件数



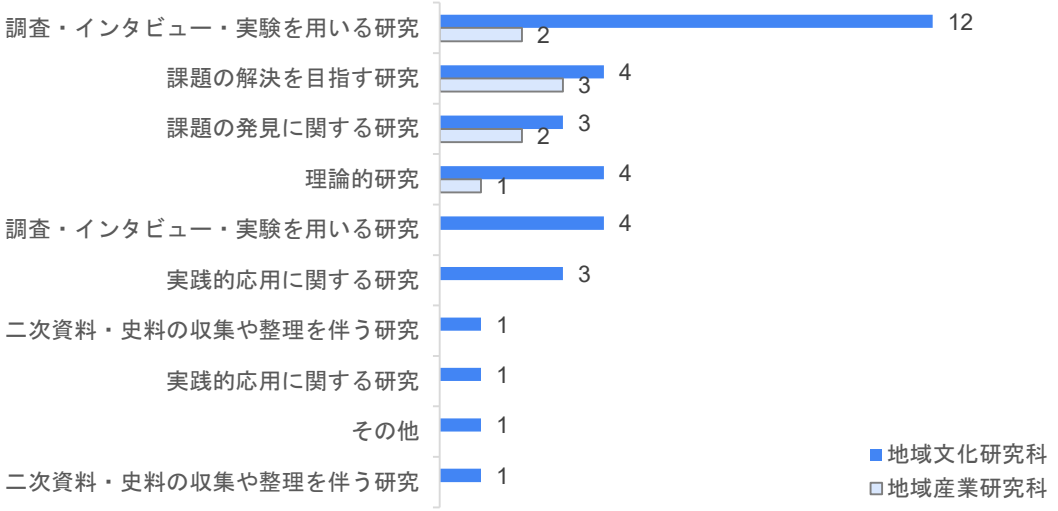
3.本大学院の情報源（複数回答可）

単位：件数



4.研究について　①研究の特性（複数回答可）

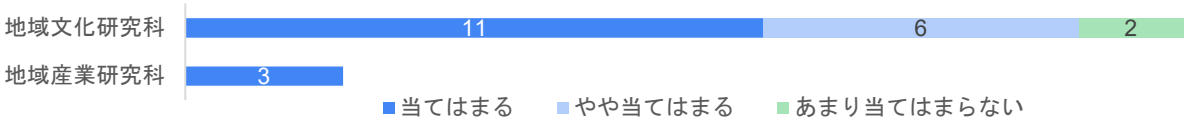
単位：件数



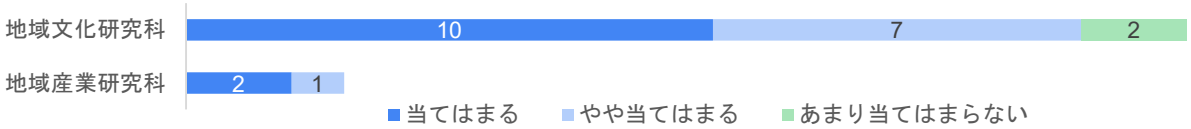
4-②.現時点での研究の状況

研究テーマ・内容が明確か

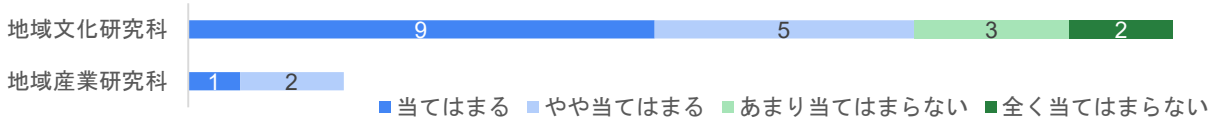
単位：人



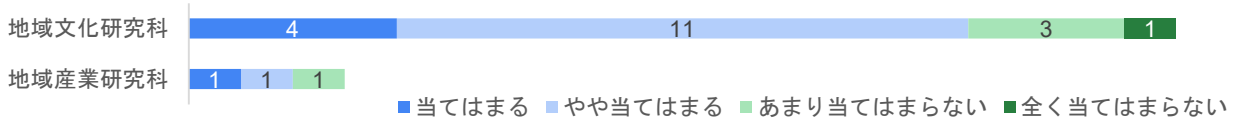
独自性を意識した研究か



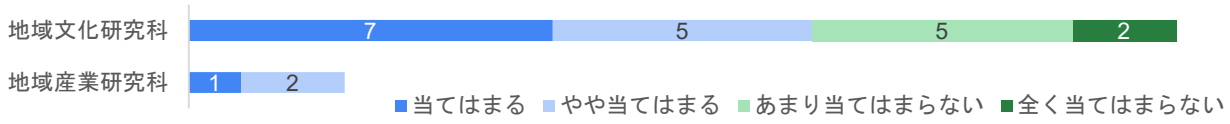
研究の計画が具体的か



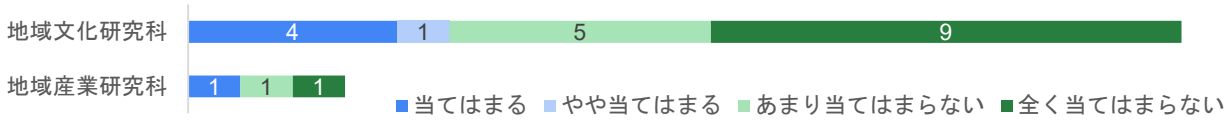
自身の判断で研究を進めている



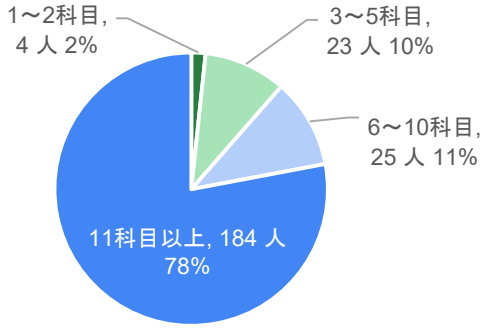
他者の意見をもらう機会を作っている



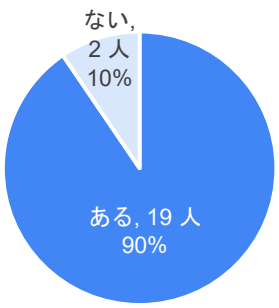
学外の研究者と積極的に交流している



5-①2021年度の履修科目数



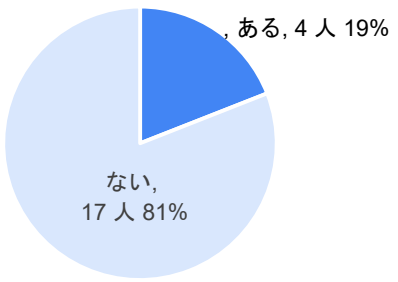
5-②-(1)今後の研究に役立つ科目



5-②-(2).研究に役立つと思った科目名、 (3).理由

所属	科目名	理由
地域文化研究科	心理学研究報特論	違うゼミの人の発表と、ゼミ担当じゃない先生のアドバイスをもらえる。
地域文化研究科	英語学特論	研究テーマに沿った内容を深めてくれた
地域文化研究科	社会福祉実践演習	実践を理論で振り返り、その理論を実践に還元する過程を学んだため。
地域産業研究科	経済情報統計解析特論、産業組織特論、地域産業セミナー、租税特論、比較経営特論	基礎知識、調査研究の方法など
地域文化研究科	人間福祉特殊研究ＩＢ	1対1で修論を添削やアドバイスをいただけるため
地域文化研究科	基礎演習	最初は自分の研究をどのように行っていったらよいのか？とても不安もあったのですが、指導教員や、ゼミのメンバーとたくさん話し合い、助け合い、修論も進めることが出来ているからです。これからも、大変なことはあると思うが頑張っていきたいと思います。
地域文化研究科	心理学研究法特論	自分自身の研究について複数の先生に意見をもらう機会が得られる点。また、同期の研究についても知ることで、ほかの分野においての知識を深めることができた。
地域文化研究科	投影法特論	今後仕事をしていく上で必要な知識・技術だから
地域文化研究科	心理実践実習	臨床的
地域文化研究科	心理学研究法特論	指導教員以外の先生方から修士論文の研究計画についてコメントしていただける点。
地域文化研究科	臨床心理学特殊研究Ｉ Ｃ、心理学研究法特論	臨床的意義を意識した研究を考えることや、各先生方からの意見をいただき、よりよい研究計画を立てることができている感じがあると思ったから。
地域文化研究科	臨床心理学特殊研究	自分の研究計画について、様々な方面から意見やアドバイスを貰えるから
地域文化研究科	臨床心理学特殊研究IC	受講生みんなで1つの研究内容をじっくり検討することが出来るため。
地域産業研究科	沖縄経済特殊研究Ⅱ	修士論文の指導を通して論理的思考力や課題解決能力を身に付けることができる。
地域文化研究科	研究法特論	修士論文の構想を練るために、色々な先生の助言をいただけたこと
地域産業研究科	沖縄経済特論	経済理論
地域文化研究科	英語論文の書き方	●先生は私の指導教官ではないのに、真摯に、そして具体的に私の研究に役に立つことを教えて下さいました。また、私が書いた纏りのない長い文章を、根気よく添削して下さり、論文の構成などについて、一緒に考えて下さり、たくさんアドバイスを頂きました。さらに、私が大きいパソコンしか持っていないことを知ると、いつでもどこでも作業が出来るようにと、●先生の軽いパソコンを貸して下さり、「卒業するまで使っていいよ、壊しても大丈夫だよ」と言ってくれました。●先生は、学生のために全力で応援して下さる素晴らしい先生です。沖国の宝物だと思います。
地域文化研究科	修士論文ゼミ	研究のサポート、メンタルケア
地域文化研究科	南島史学特論Ⅱ	史料を正確に読む力がついた点

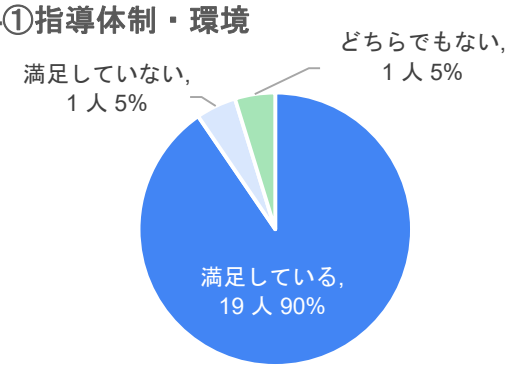
5-③-(1)改善をしたほうがいい科目



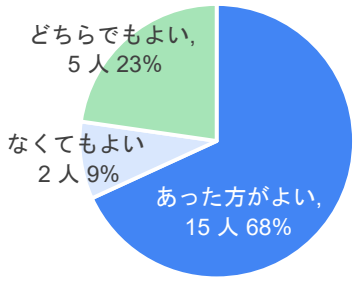
5-③-(2).改善したほうがよいと思った科目名、 (3).改善したほうがよい点

所属	科目名	理由
地域文化研究科	社会言語学	学生が準備して発表したものに対して、訂正すること以上に、批判したり、発表者への当たりが強かったりと、やる気を削がれる発言が多い点。また、授業の流れも、みんなが共通で持ってる資料を読み合わせるだけのことが多い。発表形態についても決めるべきだと思う。
地域文化研究科	社会心理学特論	修士論文の研究計画の見直し、研究の進め方について
地域産業研究科	産業組織特論	特にないです。
地域文化研究科	社会言語学	自分が発表をする時は、1ヶ月かけて資料も作ってみんなに分かりやすいように工夫したが、先生に酷い言われ方をして、辛かった。後で、他の皆が慰めてくれた。私以外にも、何人かの学生が、同じように理不尽な扱いを受けていて、可哀想だった。先生の機嫌が悪かったのか、理由はよく分からないが、毎回、気を遣う授業だった。

6-①指導体制・環境



6-③入学前オリエンテーション



6-②.満足できない理由（①で「満足していない」と回答した方）

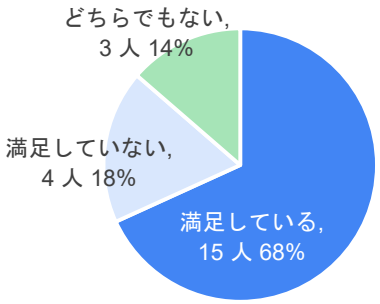
所属	ご意見・ご要望
地域産業研究科	環境として、図書館や研究室の開館時間が短い＆休業が多く不便である（特に図書館）特に図書館は依然は23:30迄空いており非常に集中できてよかったが、今は平日は20:30、土日は18時頃に閉まる。社会人として働きながら通っている身としては、夜間や休日に集中的に研究作業を詰め込み実施したい。泊まり込みを希望したいくらい。図書館の開館時間を長くすることを強く希望したいです。
地域文化研究科	長期履修を行なっており、昨年で全ての科目を履修しているため、今年度はゼミやケースカンファレンスのみ参加しております。

6-④.その他、指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

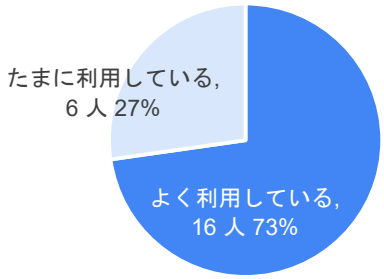
所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	入学後のオリエンテーション時に決まった指導教員がそのまま今の指導教員になり、苦しそうな人もみてきたので、指導教員を決定するシステムの改善が必要だと思います。
地域文化研究科	入学時のオリエンテーションにおいて、しっかりと説明頂いたのである程度は理解できていた。院生によって個別性がでてくるので、臨機応変に合わせる方がよいと感じる。
地域産業研究科	現在の指導教員とは学部時代、接点がほとんどなく研究に関する情報の収集に大変苦労した。学生と教員との齟齬を減らすためにも入学前に面談やオリエンテーションといった交流の機会を増やすべきだと思う。
地域文化研究科	殆どの先生方は、学生の意見を聞いて、一緒に考えていく姿勢を持っていらっしゃるが、中にはそうではない先生がいる。

「2022年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果

7-①大学院の施設・設備



7-③大学の設備(研究室や図書館)の利用



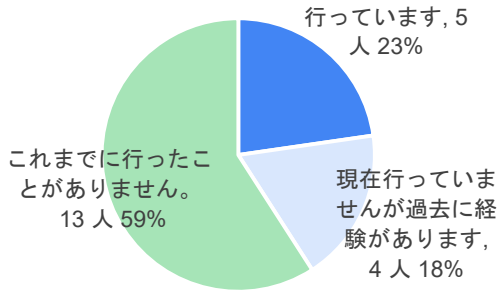
7-②.満足していない理由（上記①で「満足していない」と回答した方のみ）

所属	ご意見・ご要望
地域産業研究科	図書館や研究室の開館時間が短すぎる＆休館日が多すぎる。（特に図書館）
地域文化研究科	CiNiiなど閲覧できない論文が多い
地域産業研究科	大学院生に対する大学側の配慮が足りないように感じる。
地域文化研究科	コロナの影響で使節使用の制限が厳しすぎたこと

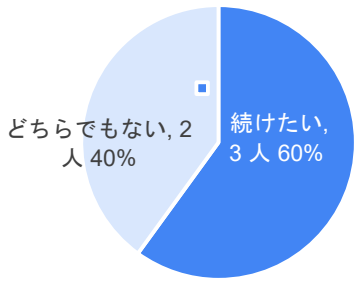
7-④.その他、大学院の施設・設備に関するご意見やご要望

所属	ご意見・ご要望
地域産業研究科	図書館の閉館時間をもっと伸ばしてほしい
地域文化研究科	図書館の開館時間をコロナ前に戻してほしい。１３号館にも充電GO!を置いてほしい。
地域文化研究科	もう少し遅い時間まで研究室や図書館、資料室を開けていただけると助かります。7限後に学習しようと思うと、図書館が閉まっていたり、研究室や資料室がすぐに閉まってしまったりするので。
地域文化研究科	7号館１階相談室の実験準備室にあるPCについて、普段ケースの記録等で使用することが多いのですが、老朽化のため使用困難になる時があるので、可能であれば新しいPCに変えてほしいです。また、7号館１階と13号館6階の電波が悪く、Wi-Fiのみだと通話できない場合があるので、ネット環境の改善を希望します。
地域産業研究科	・論文提出1週間前だけでもいいので自習室を24時間開放してほしい。この2年間、コロナ対策、入試、大学祭など入構禁止が多かったなかで論文執筆に大変苦労した。 ・大学院用のパソコン、プリンターを買い替えてほしい。論文提出時にもプリンターが1台故障しており印刷時に混雑していた。
地域文化研究科	大学院の棟の６階を使える日が多くて、助かっています。

8-①教育支援者(TA・SA)業務



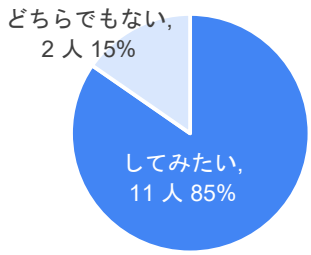
8-②M2以降も教育支援者(TA・SA)を続けたい



8-③.上記②の回答理由

所属	②の回答	理由
地域文化研究科	続けたい	面白いから
地域産業研究科	続けたい	自己学習にもなるし、教授や学部生とコミュニケーションがとれて面白い
地域文化研究科	どちらでもない	忙しくなるから
地域文化研究科	どちらでもない	教育支援者として、学部生の質問等に答えることでより学びやすい講義時間にするよう心がけており、私自身も学ぶことができるので続けたい思いはあるのですが、後期からは本格的に修士論文の構想における研究計画書等のことを考えてしまっていたり、今後、学内、学外実習も加わっていくことを考えると難しいのではないかと思いもあるため。
地域文化研究科	続けたい	大学院では通常のアルバイトが出来ないため、少しでも生活費を楽にするためにも空きコマに行えるTAを続けたい。また、学部で受講した講義の学び直しが出来る点もTAの良さであると思うので、続けたいと思っています。

8-④教育支援者(TA)経験がない方へ
教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか

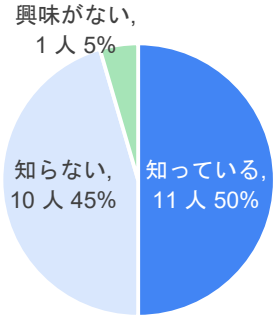


8-⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

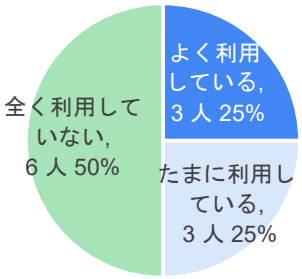
所属	②の回答	理由
地域文化研究科	してみたい	経験がないから。
地域文化研究科	してみたい	実践と研究の双方を現場に還元できる機会と感じたため。
地域文化研究科	してみたい	指導教員の考え方などをよく知ることができると思うから。
地域文化研究科	してみたい	TAの経験によって自分の理解や知識を見直しながら深めることができ、さらに人とのつながりを広げることができると考えるから。
地域文化研究科	してみたい	学部生とも関わってみたいと思ったからです。また、良い経験にもなるかなと思いました。
地域文化研究科	してみたい	年代が違う人と交流するきっかけになるから
地域産業研究科	してみたい	学部生と関わることができ、そこから新たな発見を得ることが出来そうだから。
地域文化研究科	どちらでもない	何かがよく分からない
地域文化研究科	してみたい	新たな経験が今後の自分自身の成長につながると思うから
地域産業研究科	してみたい	TA経験ないです。
地域文化研究科	してみたい	教育支援者というものが、どういうものか分からないが、自分の勉強になりそうだから。
地域文化研究科	してみたい	経験を積みたい
地域文化研究科	どちらでもない	TAの仕事に関心はあるが、自分のTAのスキルが現段階で不十分だと考えているため積極的にTAをしたいとは思えない。

「2022年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果

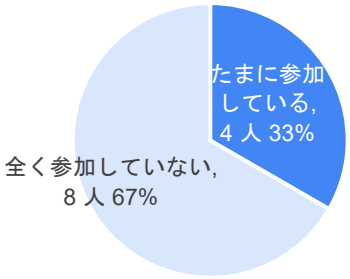
9-①本学の研究所を知っていますか



9-②本学研究所の施設を利用していますか



9-③本学研究所の研究会への参加



10.その他、ご意見やご要望（時間数、科目の種類など）

所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	社会人も学生になれることが魅力だと思いますが、時間割の設定が早い時間が多い。時間の変更をしてもらえなかった話も聞いたので、先生方が授業を設置しているのであれば、時間をずらせる準備もしておくべきだと思う。
地域文化研究科	院生同士の交流が増えればよいと感じた。コロナ禍によりオンラインや接触回避が主であり、この時代は仕方ないとは思う。
地域産業研究科	本学は、大学院後期（博士）課程はつくらないのですか？ 沖縄県には琉大しかなくまた専門も限られており進学希望者は県外を選ぶしかない。地理的にも機会的にも非常にコストがかかり諦める人も多いと思う。大学院は赤字経営だと聴いていますが、それでも沖縄県の将来的な人財育成の為、是非沖縄国際大学には期待したいです！
地域文化研究科	今年度後期、福祉の科目が少なかった。他専攻の授業を取り、専門外の勉強だったため、難しく課題に追われ、修論執筆に少し影響が出た。
地域文化研究科	可能であればもう少し時間割の配分を偏りなく分けてほしい。 13号館6階の開室時間を24時間開放にしてほしい。
地域産業研究科	修士論文の製本版を修了生用にも作成・配布してほしい。記念として手元に残しておきたい。希望制で料金を徴収してもいいので。
地域文化研究科	仕事をしながらなので、先生方や他の学生の方々が、授業の時間の変更に柔軟に対応して下さって、とても助かりました。何人かの先生は、時間の移動が出来ないとのことで、取りたい授業が取れませんでしたが、それは仕方が無いと思いました。